



東都よみうり

8/23
2013年
No.1553
(毎週金曜日発行)
☆100円☆

発行所 ©東都よみうり新聞社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀3-7-11 矢島ビル301 ☎(03)6663-9010 (03)6663-9011
ホームページ「東京村.com」 www.t-yomiuri.co.jp E-mail t-yomi@t-yomiuri.co.jp

3,465円で
読売折込チラシ広告は
1,000軒から宣伝できます
※普通紙でA4-84サイズで53,465円/㎡で1,000部〜10,000部
東都よみうり新聞社 ☎6663-9010



準備委員会の主要メンバー（左から時計回りに竹内さん、杉山さん、鈴木さん、平野さん、佐藤さん）。委員会には学生などを含め25人がかかわっている

「生きる力」育む学びの場 「マチナカレッジすみだ(仮称)」が今秋誕生!

墨田区内で多世代交流と体験型学習を中心にした「市民大学」が10月5日の開校を目指して準備を進めている。「生きる力」を育むことをテーマに掲げた「マチナカレッジすみだ(仮称)」は、「大学」といっても、建物がある訳ではない。そんなハコを持たない学びの場の立ち上げに動いているのは、同区を拠点にまちおこしや青少年育成事業にかかわる若手起業家たちだ。

「マチナカレッジすみだ」は、子供から大人まで幅広い世代が参加できる地域教育をシステム化しようという試みだ。地域で何かを伝えたい、自分の知識や技術を還元したい、と活用し、地域と有意義にかかわりたい、学びたいという人を、講座を通じて結びつける。地域課題の解決や学校教育では子供たちに教

え切れない分野を地域が支援するといった役割も意識している。この仕組みを考案した平野豊宏さん(49)は、墨田区錦糸(錦糸)は、地域活性化コンサルタント、起業家などを経て、昨年NPO法人「地域コミュニティ研究所Cic O Lavo(チコラボ)」(墨田区錦糸)を立ち上げ、墨田区が展開する教育事業「学校支援ネットワーク」の中で小



6月に開かれた第1回体験会でテーマについて対話をする参加者

中学校にワークショップ形式の授業を提供している。講師を引き受けてくれる人と学校をつなぐコーディネート者としての役割を果たす中で、さらに一歩進んだ地域内の学びの場づくりを構想していたという。同じ墨田区で、出張授業や授業開発支援などを行う鈴木篤司さん(40)(NPO法人「サウザンドポート」代表理事)が平野さんに出会ったのが、墨田区主催の「すみだガバナンスリーダー養成講座」の活動報告会だった。既存の学校では十分に教える余裕のない「生きる力」を子供たちに教えたいと考えていた鈴木さんに「平野さんのプラットフォーム的な『学校』の構想に、自分のコンテンツを乗せるといったアイデアがうまく合致した」という。この時の出席者に地域プロモーションの会社を起業し、墨田区

あさって体験会 哲学的・批判的 思考を刺激!

開校に先立って今月25日に墨田児童館(同区墨田)で開く一日体験会では、今年度の麻布中学の入試問題を軸にした「もしかしでド

ラえもんは『生き物』なのではないか?」というテーマで出席者がそれぞれの方を述べながら対話する。哲学的・批判的思考を刺激

するのが目的で、を通じて自分の考えを変容していくことを体験してほしいと鈴木さんはいふ。始は午前9時45分、加費は子供1人100円、大人1人100円。申し込みは、わせは準備委員50・686119へ。

※「マチナカレッジすみだ」は今年正式名称を公表予定だ。

などを行う杉山さん(38)やグラフィックデザイナーの竹内さん(28)(台東区)などを交えて今年月に発足した。

新しいみ作りで合いを重ね「生きる力」を育む方向性と「論理的」「哲学的」「創造性」力「地域課題の解決」の4分野「学部」で、その趣旨にた講座をしていく。だ。キヤス」は、とに異なる。